

財団法人いばらき腎バンク

[法人の概要]

平成24年7月1日現在

代表者名	理事長 大河内 信弘(非常勤)	県所管部課	保健福祉部薬務課	
所在地	つくば市天久保2-1-1 筑波大学附属病院 C棟322-1	電話番号	029-858-3775	
ホームページURL	http://www.ibajinbank.com/	E-mailアドレス	iba-jinbank@ibajinbank.com	
資本金(基本財産)	417,826	千円	設立年月日	平成1年12月14日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	281,288	67.3%
	2	市町村	100,000	23.9%
	3	茨城県腎臓病患者連絡協議会	10,000	2.4%
	4			
	5			
その他	7団体 6個人		26,538	6.4%
設立目的	腎不全患者の早期回復と腎不全の予防を図るため、県民運動としての腎不全対策を積極的に推進していくことを目的として設立した。			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	平成21年度	平成22年度	平成23年度	内 容
事業1 移植推進事業	1,327	4,533	4,518	目的:臓器提供発生時に業務が円滑に行われるよう、医療機関関係者を支援 内容:医療機関関係者を対象とした研修会の開催、臓器移植コーディネーター業務等
	全体事業に占める割合 20.4%	37.9%	47.0%	
事業2 普及・啓発事業	1,460	3,708	1,411	目的:臓器移植の推進及び腎臓病の発病予防を図るための普及・啓発 内容:啓発資材作成やキャンペーンを行う経費、広報紙作成、学校等での学習会の開催等
	全体事業に占める割合 22.5%	31.0%	14.7%	
事業3 臓器提供者家族支援事業	0	0	206	目的:臓器提供者家族の心理面の支援 内容:希望者へのカウンセリング実施
	全体事業に占める割合 0.0%	0.0%	2.1%	
その他 事業	事業1~3以外 3,710	3,709	3,477	・腎臓移植希望者への検査費用助成 ・事務局運営・管理費 等
	全体事業に占める割合 57.1%	31.0%	36.2%	
全体事業	6,497	11,950	9,612	指定管理者
	全体割合 100.0%	100.0%	100.0%	

< 財団法人いばらき腎バンク から県民のみなさまへ >

当財団は、腎臓移植の促進と腎不全に対する総合的な対策を図ることを目的に、平成元年12月に設立いたしました。以来、オリジナル臓器提供意思表示カードの作成・配布、命の大切さを伝える「いのちの学習会」の開催、腎臓移植を希望される方への検査費の助成など、移植医療を推進するための活動を実施しております。

また、今年度より、平成23年度来準備を進めていた臓器提供者のご家族の心のケアのための専門家によるカウンセリング(臓器提供者家族支援事業)を全国に先駆けて開始いたしました。

今後は、慢性腎不全で人工透析を受けておられる患者数が年々増加していることから、運動と食事についての体験型講習会を開催する等、慢性腎臓病の予防対策事業のさらなる充実も図り、県民福祉の向上に寄与して参りますので、引き続き、県民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年2月 理事長 大河内 信弘

[経営状況] 財団法人いばらき腎バンク (単位:千円)

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	増減数	増減理由
正味財産増減計算書	一般正味財産増加額	6,882	11,058	11,065	7	
	経常収益	6,882	11,058	11,065	7	
	基本財産運用益	5,636	6,332	5,391	△ 941	国債買替えによる金利減少
	事業収益	10	165	100	△ 65	
	受取補助金等	120	326	300	△ 26	
	その他収益	1,116	4,235	5,274	1,039	賛助会員数・寄付金の増
	経常外収益	0	0	0	0	
	一般正味財産減少額	6,507	11,753	9,682	△ 2,071	
	経常費用	6,507	11,753	9,682	△ 2,071	
	事業費	3,192	8,691	6,436	△ 2,255	啓発資材作成費用の減
	管理費	3,315	3,062	3,246	184	
	うち役員人件費	0	0	0	0	
	うち職員人件費	744	5,740	6,430	690	嘱託職員雇用
	経常外費用	0	0	0	0	
	一般正味財産増減額	375	△ 695	1,383	2,078	
指定正味財産増加額	0	0	0	0		
指定正味財産減少額	0	0	0	0		
指定正味財産増減額	0	0	0	0		
正味財産期末残高	426,233	425,538	426,921	1,383		
貸借対照表	資産合計	426,240	425,550	427,001	1,451	
	流動資産	8,404	7,518	9,039	1,521	
	固定資産	417,836	418,032	417,962	△ 70	
	負債合計	7	12	80	68	
	流動負債	7	12	80	68	
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	0	0	0	0	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
	正味財産合計	426,233	425,538	426,921	1,383	
	基本財産充当額	0	0	0	0	
県財政関与状況	補助金	0	0	0	0	
	委託料	0	0	0	0	
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	0	0	0	0	
	合 計	0	0	0	0	
	財政的関与の割合(%)	0.00%	0.00%	0.00%	0.0	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
借入金残高(期末)	0	0	0	0		
合 計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式	平成21年度	平成22年度	平成23年度	増減P	備 考
収益事業比率	収益事業費／当期支出合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	
管理費比率	管理費／当期支出合計	50.9%	27.3%	33.0%	5.8	
人件費比率	人件費／事業活動支出	11.5%	48.0%	66.9%	18.9	
自己収入比率	自己収入／事業活動収入	18.1%	42.7%	51.3%	8.5	
流動比率	流動資産／流動負債	120057.1%	62650.0%	11298.8%	△ 51351.3	
借入金比率	借入金残高／負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

7月1日現在の人数		平成22年			平成23年			平成24年			増減数	増減理由
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB			
役員	常勤理事・監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非常勤理事・監事	20	3	0	20	2	0	21	2	0	1	
	計	20	3	0	20	2	0	21	2	0	1	
職員	管理職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般職	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
	嘱託・臨時職員等	1			1			1			0	
	計	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	
当期常勤職員の年齢構成		~20代	30代	40代	50代~	合計	平均年齢		プロパー職員平均勤続年数			
		0	0	0	1	1	56.0	歳	2.5 年			
プロパー職員平均給与(年額)											千円	
1名のため個人情報となる給与は非公開												
常勤役員平均報酬(年額)											千円	
											0.0 千円	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	11	17	20	85.0%
計画性	8	13	20	65.0%
組織運営健全性	9	13	20	65.0%
効率性	11	10	20	50.0%
財務健全性	10	18	20	90.0%
合計	49	71	100	71.0%

公益法人会計用

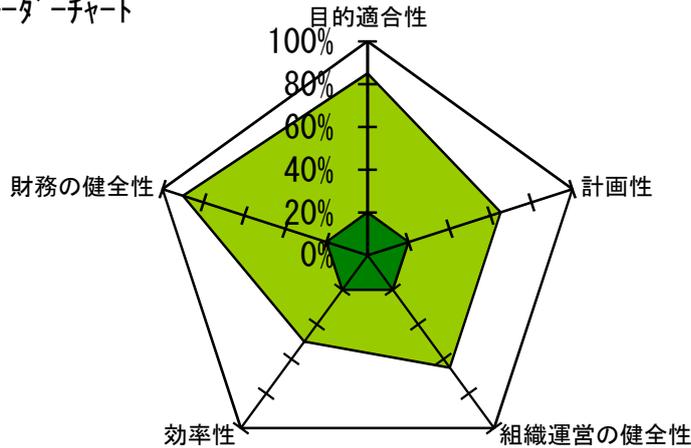
財団法人いばらき腎バンク

警戒指標

《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

経営評価
レーダーチャート



[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
臓器移植希望者の移植推進と新たな国民病と呼ばれる慢性腎臓病の発病予防対策を柱に県民福祉の向上の寄与に努めている。	出資法人等改革工程表の年度別目標を掲げ、ほぼ計画どおり実績を上げている。 今後、法人の将来方向に沿った「中期運営計画」を策定する。	専門知識（医療免許や行政書士の免許を所持）を有する職員を配置し事業や管理の効果的实施に努めている。 また、会計の専門家が財務に関与している。	さらなる事業活動の充実を図るためにも、管理費等の抑制や自己収入比率の増加に努める。	平成21年度より賛助会員の募集を開始し、平成23年度の会員数は80団体と前年度より13団体増えており、また、チャリティーベンダーの増設による収入も設置当時より約10倍の収入を得ている。 今後も安定的財源確保のための歳入増対策を講じていく。
今後の事業展開の方向	移植医療への理解を広げ、臓器提供者の増加を図るための普及啓発活動を展開していくとともに、慢性腎臓病の発病予防に係る啓発も強化していく。			

[法人担当課の意見]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
慢性腎臓病の発病予防の啓発強化にも努めていくことは評価できるが、そのためには役員と連携して特色のある事業を実施する必要がある。	法人のあり方検討結果に沿って運営基本方針を見直し、中期運営計画を策定していくよう指導していく。	平成22年度より専任職員による事務局運営を開始し、これに対応した業務規程等も整備済である。 また、会計の専門家による監事監査の体制を整備している。	管理費は前期と比べて抑制されているが、管理費比率をさらに抑制する必要がある。	厳しい経済情勢にもかかわらず、賛助会費・寄付金収入は毎年増加しており、財政基盤の強化が図れている。
<p>法人担当課の意見</p> <p>臓器移植希望者に対する臓器提供者が不足しており、透析患者数も増加が続いている状況において、財団の果たすべき役割は極めて大きいと考えられるので、特色のある啓発活動を行う等財団の独自性を強化するよう指導していく。</p>				

[経営目標]

区分	指標名	単位	H21実績	H22実績	H23 目標値	H23実績	達成度(%)	H24目標値
事業成果	1 いのちの学習会	件	4	7	6	7	100.0%	7
	2 臓器提供意思表示カード配布	枚	12,710	11,700	15,000	20,867	100.0%	17,000
健全性	1 無借入金度	%	100	100	100	100	100.0%	100
	2 正味財産増減額	千円	375	-695	300	1,384	100.0%	300
効率性	1 自己収入比率	%	18	42	50	51	100.0%	53
	2 無補助金度	%	100	100	100	100	100.0%	100
平均目標達成度							100.0%	

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	緊急の改善措置が必要	
総合的所見等	<p>臓器移植コーディネーターの配置や賛助会費等により財源を確保し臓器移植の普及・啓発事業に取り組むほか、新たに臓器提供者家族支援事業を行うなど、事業の充実に努めている。</p> <p>法人は、あり方検討委員会の検討結果を踏まえ、臓器移植普及・啓発事業等のより一層の充実や財政的基盤の確立を図ることが必要である。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>法人は、外部委員を含めたあり方検討委員会を設置し、法人の将来方向について検討を行った結果、公益財団法人への移行と事業活動の更なる拡充や常勤役員の設置等の結論を得た。</p> <p>慢性透析患者数は右肩上がり増加していることから、慢性腎臓病の発病予防に係る事業を実施する等事業活動のより一層の充実や常勤役員の設置等法人組織の強化に取り組むとともに、早期に中期運営計画を策定するなど法人が自立して運営できるよう指導していく。</p>				